

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号  
特表2001-510264  
(P2001-510264A)

(43) 公表日 平成13年7月31日 (2001.7.31)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコード* (参考)
F 0 2 G	1/053	F 0 2 G	G
	1/043		D
	1/044		A

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 35 頁)

(21) 出願番号 特願2000-503335(P2000-503335)  
 (86) (22) 出願日 平成10年7月14日(1998.7.14)  
 (85) 翻訳文提出日 平成12年1月17日(2000.1.17)  
 (86) 国際出願番号 PCT/US 98/14586  
 (87) 国際公開番号 WO 99/04153  
 (87) 国際公開日 平成11年1月28日(1999.1.28)  
 (31) 優先権主張番号 60/052, 535  
 (32) 優先日 平成9年7月15日(1997.7.15)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)  
 (81) 指定国 EP(AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), CA, CN, JP, MX

(71) 出願人 ニュー・パワー・コンセプト・エルエルシー  
 アメリカ合衆国、ニュー・ハンプシャー州  
 03101、マンチェスター、コマーシャル・ストリート 340  
 (72) 発明者 カーウィン、ジョン  
 アメリカ合衆国、マサチューセッツ州  
 02193、ウエストン、ハリット・ヒル・ロード 25  
 (74) 代理人 弁理士 山崎 行造 (外2名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カンチレバー式クランクシャフトスターリングサイクル機

(57) 【要約】

2つのピストンを有するスターリング機関であり、その2つのピストンは固定された起点に関する各ピストンの正弦変位の間特定の位相関係を与えるように調和駆動リンク機構へ接続されている。その調和駆動リンク機構は、主クランクシャフトと、この主クランクシャフトに対して内側に取り付けられ、主クランクシャフトに関して反対方向に回転するようにギアセットを介して接続された偏心クランクシャフトとを有する。その偏心クランクシャフトは、主シャフトに関して片持ち支持してもよく、この場合、機関のピストンは偏心クランクシャフトへ支持ベアリングの外側で偏心クランクシャフトへ接続される。正味の角度モーメントが零の機関の操作を与えるように、はずみ車が偏心クランクシャフトへ接続されている。吸気マニホールドは、機関の燃焼加熱用のために空気と燃料とを混合するために設けられている。

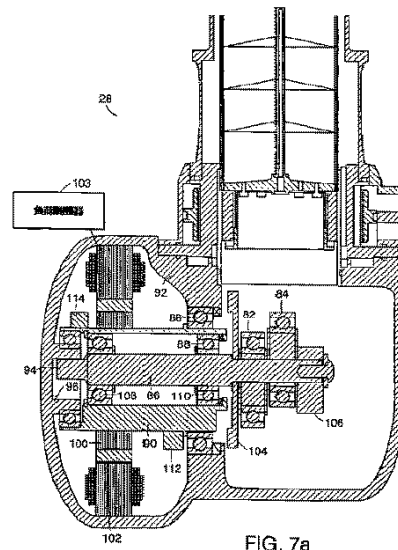


FIG. 7a